

# 人権ふれあい弁論大会

すばらしい発表ありがとうございました 平成 22 年 12 月 5 日



人権だより

ぬくもい



「ぼくのおじいちゃん」

萩山 翼 さん

豊洲小学校 6年

車椅子のおじいちゃんをはじめ、  
様々な人々が使える「ユニバーサル  
デザイン」を普及させたり、快  
適な暮らしができるようサポート  
したりすることが大切。

「みんなが快適に

暮らせるためのマナー」

川西 総一郎 さん

豊洲小学校 6年

点字ブロックへの駐輪、障がい者  
用の駐車場への駐車など、「つい」  
「うっかり」でマナー違反が生まれ  
ないように配慮することが必要。



## 人権週間

平成 22 年 12 月 4 日～10 日

豊洲小学校・茶屋町小学校・東陽中学校の児童・生徒による作品（ポスター・書道・標語）を展示しました。



第 32 号

平成 23 年 2 月 15 日

東陽中学校区

人権学習推進委員会

事務局：茶屋町公民館

TEL：428-1315

### 「他人を思いやる気持ち」

切佐古 朋世 さん

茶屋町小学校 6年

他人を思いやり、みんなが協力することで、今の世の中を変えていけるような大きな力になる。

### 「国境のないサッカー」

藤田 育明 さん

茶屋町小学校 6年

自分の所属しているサッカーチーム・チームメイトの現状と、サッカーを通じて世界中の人と交流ができるということ。

### 「資源の活用」

小橋 りさ さん

東陽中学校 3年

未来のために資源を有効に使う必要がある。1人では限界があるが、みんなであれば大きな効果が出る。

### 「手紙」

佐藤 晴子 さん

東陽中学校 3年

思いを伝える手段は携帯・メールより手書きの手紙の方が好き。手紙の良さを多くの人に知ってほしい。

### 「アメリカ人のしつけに学ぶ」

佐川 慶三 さん

勤務を通じてアメリカでのしつけについて学んだ。幼少期でしっかりとしつけをしておくべき。

### 「認知症と共に歩む」

研本 彰子 さん

介護の現場での体験。認知症の方とかかわっていくことで、気持ちを理解し、代弁していくことの必要性を痛感した。

※枠内の文章は、推進委員がメモしたものです。

## 感想

- ・ ふれあい・思いやりの大切さ。規律・規則を守る大切さ。学校の参加日等の機会に小学生高学年以上の生徒及び保護者に聞いてもらいたい気がします。素晴らしい内容でした。
- ・ 小中学校の方の発表にはとても感心しました。このままの純な心を持って成長していただきたいと思う心で一杯です。とても感激したのはアメリカのしつけに学ぶというお話です。これは何十年前の日本の至る所で行われていた教育です。また元に戻って一からやり直さなければと思いました。
- ・ すばらしい意見発表ありがとうございました。それぞれの年齢に応じた考え、自分も小学校教師をしていた母を介護している自分としては思うところ大です。知能とは環境にいかにか適合していくかが大切かをちょうど読んだばかりだったので、それぞれに人を大切にしていきたいと思います。
- ・ 他人を思いやる気持ちは当たり前のように難しいです。しっかりした考えを持ち、いつも平常心でいなければ行動が伴わない、若いっていいですね。何でもできそう。私の周りにしっかりした考えを持っている方が大勢いらっしゃる事が心強く思います。来年の大会を楽しみにしています。

## 館長あいさつ（要約）

私たちは、家族や職場、地域の人など、周りの人とのかかわり合いの中で生きています。

したがって、自分一人の考えだけで毎日を過ごすことなど、まず不可能です。とかく敬遠されがちな人権ですが、幸せな毎日を過ごすうえでは、一番身近なものだと思います。

人権について、知識として理解するだけでなく、よりよいかかわり合いをしていくためにはどうしたらよいかという実践力を身につけていきたいものです。



館長さんの熱いあいさつで、人権は身近で生活と切り離せないものであり、むずかしく、とっつきにくいものではないことが良く伝わりました。



# 人権教育講演会 『今、子どもたちに何が』

美作大学 准教授 岡崎 明宏 先生 平成 22 年 12 月 15 日

岡崎明宏先生（美作大学准教授）をお招きして、人権教育講演会を開催しました。

<参加者のご感想（抜粋）>

- ・ 自分に向けられた言葉がイヤ言葉は、絶対に使わないようにしたい。相手の身になって考えて行動がしたいです。イタワリという言葉は大切ななあと思います。
- ・ 先生の教員生活の体験を通しての親と子のかかわり方によって、子どもの成長にいかに関与があること等を話され、今の家庭での生活の重要なことを知りました。子育ては地域の人がかかわって、言葉をかけて育てるようにしたら良いのでは。
- ・ 注意することに気を使い、あいさつなどから始めないと反発をくらう今の世の中。本当に情けないと思います。そういった子どもが親になり、同じ繰り返しをしていく日本の教育問題、転換期を期待したいです。敬語の使い方は大人にとっても難しいですが、幼少期から家庭・学校で指導・しつけをしていきたいものです。



## 研修視察 — 神戸 —

阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」 平成 22 年 9 月 26 日



阪神・淡路大震災のような災害が起こらないように、いろいろな知恵や知識を得て、災害に強いまちづくり、地域づくり、そして私たち自身の準備に役立てられるよう「人と防災未来センター」を見学しました。

<参加者のご感想（抜粋）>

- ・ 改めて助け合う心を痛感した。
- ・ 自然災害の一つである地震をビデオによる当時の模様を見て、改めて大変だったんだと思いました。現在の神戸の姿を見て、人々の悲しみを乗り越えての今の生活を営んでいるのを感慨深く思いました。

人権が守られ  
すべての人が大切にされる  
「ぬくもり」のあるまちづくり

当園は、今年で創立 10 周年を迎えました。平成 13 年に 60 名の定員でスタートしましたが、平成 16 年に園舎を増築し、今では 143 名の子供たちが元気に登園しております。

いちご狩りにバス旅行、ふれあい運動会に焼き芋大会と四季折々の行事を地域の方々といっしょに楽しんだり、住吉神社や眠亀まつりでは和太鼓を披露させてもらったりして、地域の皆様にお手伝いをいただきながら子供たちは様々な体験に瞳を輝かせております。これからも子供たちが健やかに成長していけますようご支援ご指導のほどよろしくお願いいたします。



眠亀記念館で和太鼓披露

## おかげさまで 創立10周年



いちご摘みをしました。



地域の方々にお手伝いを頂き  
焼き芋大会をしました。



地域の方々と和気鶴飼谷へバス旅行に出かけました。



# 倉敷市立茶屋町小学校

12月1日現在、児童数 1170 名、学級数 35 学級で倉敷市内で一番の大規模校です。児童数は、毎年少しずつ増えていっている状況です。今年度は、ついに教室が足りなくなって 2 年生が 2 クラス、プレハブの教室で勉強をしています。

子どもたちは、茶屋町っ子あいことばのもとに、今年度のスローガンを考え、運動場からよく見える第 2 体育館に掲げて、元気でやさしい茶屋町っ子を目指しています。



代表委員会で児童が話し合って決めました。

### 茶屋町っ子あいことば

- チャレンジ (チャチャチャ)
- やさしい (チャチャチャ)
- まけない (チャチャチャ)
- ちからいっぱい (エイエイオー！)

言葉の力の基礎基本を活用し、生き生きと表現する児童の育成を目指しています。その一つの取組として、毎月茶小の歌を全校で作り廊下に掲示しています。その時その時の様子や気持ちがよく伝わってきます。

